



ふれあい 放水路

2003
(平成15年)
第106号
1月



朝日が昇る新崎屋橋

写真提供：石飛明比古氏

あけまして
おめでとうございます

平成十五年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

斐伊川放水路事業においては、拡幅部の築堤・護岸、また、新内藤川排水機場の改築や橋梁架設等も順調に進んでおります。開削部においても掘削や残土処理が順調に進んでいます。地域の皆様をはじめ関係者の方々のご理解とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

本年は、引き続き橋梁の架橋工事を進め、堤防の連続性を確保すると共に、掘削工事などを推進してまいります。

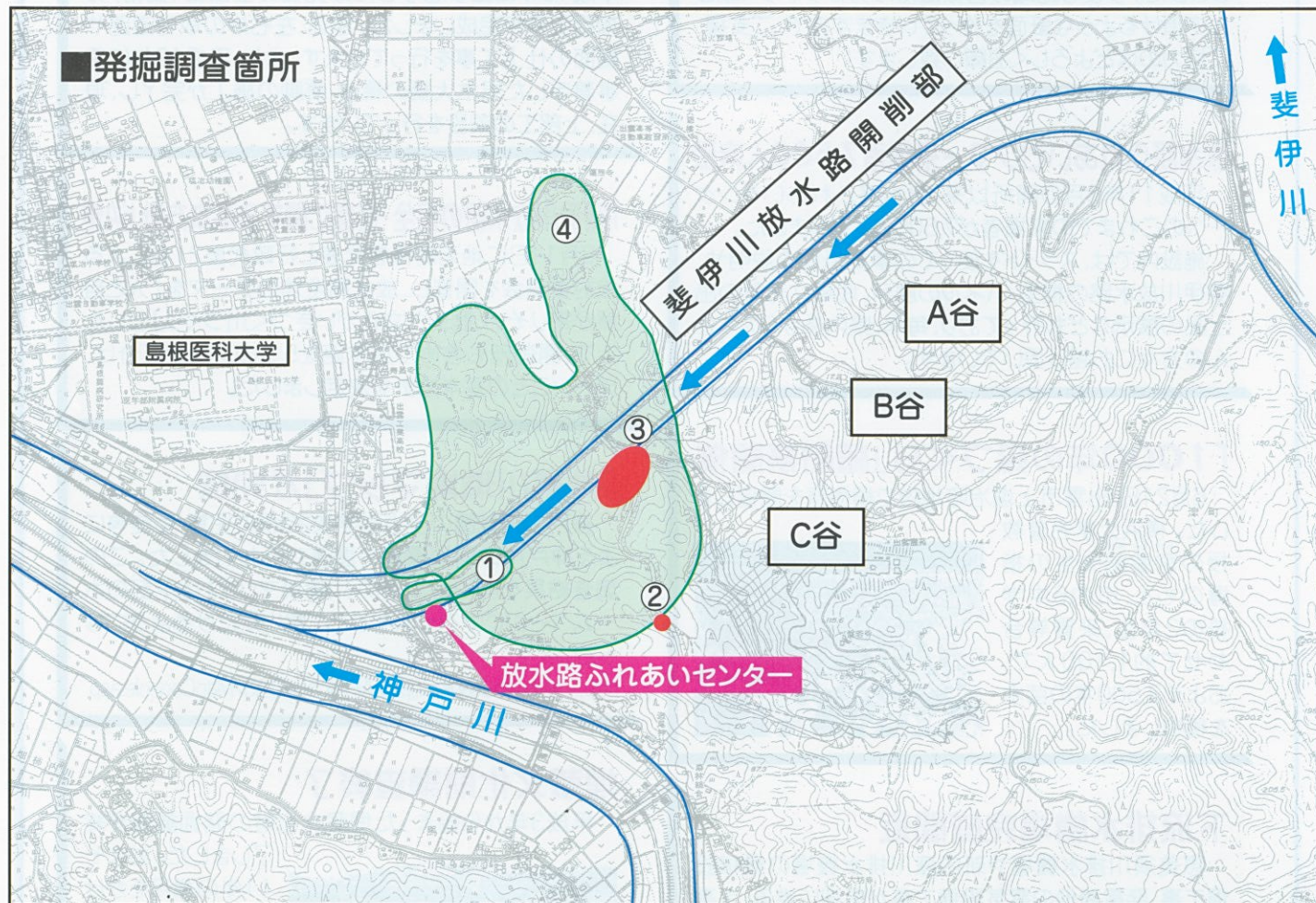
国の財政事情は厳しい状況にありますが、斐伊川放水路事業は地域の生命・財産を守るために必要不可欠な事業であります。そのためにも一日も早い完成を目指して努力してまいりますので、引き続き、本事業に対するご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国土交通省出雲工事事務所長

船橋 昇治

放水路事業予定地の埋蔵文化財調査結果 ～開削部その①～

放水路事業予定地では、平成3～13年までの11年間で48遺跡(島根県教育委員会34・出雲市教育委員会14)の発掘調査を行い、現地での調査がすべて終了しました。そこで、これまでの開削部での発掘調査結果について、これから2回シリーズで紹介します。



①三田谷I遺跡 (出雲市上塩冶町)

平成6～10年まで調査したこの遺跡では、縄文時代後期(約3,000～4,000年前)の丸木舟がほぼ完全な形で見つかりました。県内では4例目の発見で、水上交通や漁などに利用されていたと思われます。

また、弥生時代後期(約1,800年前)の方形周溝墓が、県内で初めて発見されました。

この他、奈良時代の掘立柱建物跡や和同開珎・木簡・墨書土器、ヘラ書き土器などが見つかり、この地に役所に伴う施設があったのではないかと考えられます。

<資料提供:島根県教育委員会>



【縄文時代の丸木舟】

②光明寺3号墓 (出雲市馬木町)

光明寺3号墓では、島根県で5例目となる石櫃(石製骨蔵器)が発見されました。中には火葬された人骨が納められており、当時この辺りで、ある程度身分の高かった人物の墓ではないかと考えられています。時期は8世紀の初め頃と考えられ、日本に火葬が取り入れられて間もなく築かれた遺跡と推定されます。



<資料提供:出雲市教育委員会>

③上塩冶横穴墓群第17支群 (出雲市上塩冶町)

出雲市上塩冶町の広範囲にわたる上塩冶横穴墓群の一角を成す横穴墓群です。14基の横穴墓を並んで見る事ができました。

横穴墓のほとんどは盗掘を受けるなどして出土遺物はありませんが、須恵器とともに金環などの装飾品が出土しました。古墳時代後期から終末期(6世紀末から7世紀初頭)のものと考えられます。

<資料提供:出雲市教育委員会>



【横穴墓群第17支群全景】

④上塩冶横穴墓群 (出雲市上塩冶町)

古墳時代後期頃(約1,300年前)の上塩冶横穴墓群では、平成4～9年度の間約180穴の調査を行い、県内でも最大級の横穴墓密集地であることが分かりました。横穴墓の中には、死者を納めるための家型石棺や床を削って造ったベッド(有縁屍床)などを設けるものもありました。

死者を納めた部屋の床には、須恵器や土師器と呼ばれる土器、太刀・馬具などの金属製品、ガラス製や瑪瑙製の玉類の他、全国的にも出土例の少ない金糸と金製環なども納められていました。

■横穴墓第22支群全景



<資料提供:島根県教育委員会>

平成14年 斐伊川放水路10大ニュース

ふれあい
放水路

通信

「ふれあい放水路」第100号発刊!

斐伊川放水路事業の情報紙として平成6年4月に創刊しました「ふれあい放水路」が遂に100号を達成しました。今後も地域の皆様に、より分かりやすく親しんで頂けるような紙面を作っていきますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します!

放水路ふれあいセンター来場者7,500人突破

平成11年3月の開所以来、放水路ふれあいセンターへのこれまでの来場者が7,500人となりました。

施設内では、スライドを使っての事業概要の説明や、斐伊川放水路の模型・パネルの展示、埋蔵文化財の出土品の展示なども行っており、毎年、県内外からたくさんの方々にお越し頂いています。

「1000年の森づくり」植樹祭開催

6月21日、出雲市上塩冶町地内で植樹祭を開催しました。横浜大学名誉教授の宮脇昭先生の指導のもと、市内6中学校の2年生、来賓等合わせて約1,100人で、およそ3,500本の苗木を植樹しました。



下流排水機場完成間近

恵美須川排水機場や新内藤川排水機場の機械設備工事、発電機他の電気設備工事が順調に進み、工事は完成に向けての最終段階に入っています。

志津見ダム・尾原ダム工事順調に進む

神戸川上流の志津見ダムと斐伊川上流の尾原ダムでは、用地家屋補償についてはほぼ終了し、現在、付替道路などの工事を鋭意施工中です。

順調に進む橋梁工事

拡幅部各地で行っている橋梁工事が順調に進んでいます。

平成10年に工事着手した妙見橋の上部工(橋桁)の架設工事が完成しました。現在、左右岸の取付道路や橋面の仕上工事を行っています。また、平成12年に工事着手した馬木大橋の橋台・橋脚の施工が完了し、現在、上部工の架設を行っています。

「斐伊川放水路の保全・整備に関する基本方針」決定

6月11日に地元関係者代表と行政代表21名による検討委員会を開催し、放水路全体のテーマを「人と自然が寄りそい、歴史と文化がいきづく川づくり」とした上で、開削部も含めて放水路を5つのゾーンに分け、ゾーンごとの基本方針を決定しました。

「神戸川環境マップ」が完成

神戸川流域圏の全小中学校29校の児童・生徒等による神戸川の河川環境の調査が行われました。この調査結果をまとめた「神戸川環境マップ」は下記のホームページにアクセスするとご覧いただけるようになっています。

<http://www.chusankan.jp/MAP/schoolDAS/MapConsole.asp>

埋蔵文化財調査終了

平成3年から始まった埋蔵文化財の発掘調査が終



【古志本郷遺跡 奈良時代の郡庁跡】

了しました。およそ11年の歳月をかけて行われた発掘調査は、48遺跡約32ヘクタールに渡って行われ、全国的にも珍しく貴重な遺物や遺跡が数多く発見されました。

大橋川コミュニティセンター開所

安全で安心して暮らせる市民生活を実現するために、大橋川改修及びまちづくりについての情報発信・意見交換を行う場として松江市・島根県・国土交通省が設置した施設です。当所では様々なイベントも開催しておりますので、みなさん是非お越しください!

(本紙第98号参照)



国土交通省中国地方整備局
出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/iyousi.htm>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当

放水路工事室 事業対策官